



役場新庁舎がオープン

1月4日の御用始めに先立ち、役場新庁舎玄関前でオープンセレモニーが行われました。柿岡中学校吹奏楽部の皆さんが演奏する中、桜井町長、島田議会議長があいさつ、その後ファンファーレとともに、町長、議長、吉川農業委員会会長、仁平収入役、軽部教育長の手で、紅白のテープにハサミが入れられました。

今年は合併40周年を迎えた節目の年、新庁舎がオープンし希望に満ちた平成7年が華々しくスタートしました。



玄関前で行われたテープカット

◇町の人口(12月28日現在) 男15,230人 女15,550人 計30,780人(前月比+11) 世帯数7,679世帯(前月比+15)

で魅力あるまちづくり

一般会計

歳入 96億7,695万円 歳出 90億7,178万円

一般会計

平成5年度の一般会計決算額は、歳入合計が96億7,695万円(対前年度比3億6,958万円増)、歳出合計が90億7,178万円(同比4億4,652万円増)となりました。このうち繰越明許にともなう平成6年度へ繰り越すべき一般財源、871万円を差し引いた実質収入は5億9,646万円となりました。

歳入の状況

歳入のトップは、国が一定の基準により地方公共団体に交付する地方交付税で35億345万円。歳入全体の36・2%を占めました。

次いでみなさんから納めていただいた町民税や固定資産税などの町税が21億1,256万円でした。前年度比は2,434万円増となりました。以下、財産収入・繰越金・繰入金などが17億7,065万円(対前年度比19・2%増)、特定の事務事業を行うとき国県から補助を受ける国県支出金は11億5,028万円(同比7・1%増)国税として徴収され、そのまま町に与えられる地方譲与税などが6億4,251万円(同比2・4%増)と続きます。

町が特定の事業を行うときに必要な財源を調達するための地方債

歳出の状況

は、4億9,750万円(同比17・4%減)となりました。

歳出での第1位は庁舎建設事業などが含まれている総務費で21億6,963万円(対前年度比45・9%増)となり、歳出全体の23・9%を占めました。

第2位は教育費で17億2,540万円(同比5・0%増)続いて町の基幹産業である農林水産業費が13億3,407万円(同比3・8%増)の順になりました。

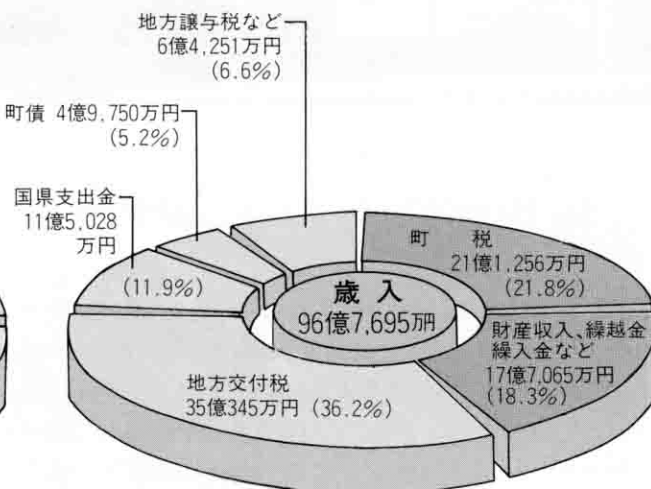
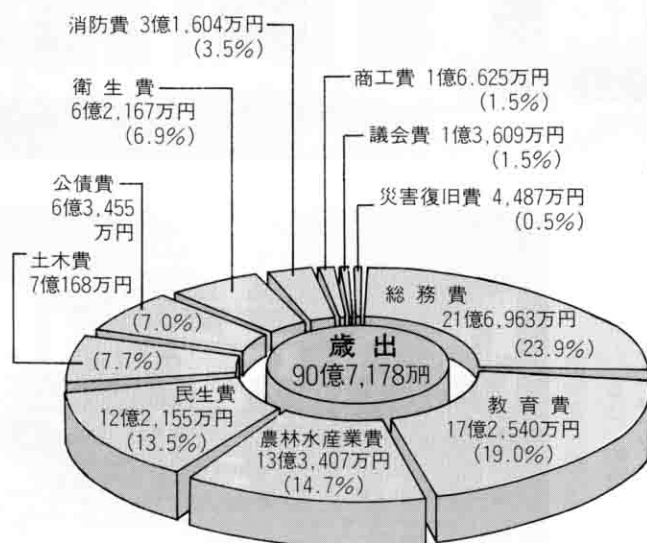
高齢化社会をむかえ、社会福祉や老人福祉、老人医療給付費などが含まれている民生費は12億2,155万円(同比2・9%増)にのびりました。

また、町道の新設改良や地域改善対策事業などを進めた土木費は、7億1,687万円(同26・4%)となりました。

保健衛生やゴミ処理に使われた衛生費は6億2,167万円(同比2・3%増)に。町民の生命財産を守る消防防災などのために使われた消防費は3億1,604万円となり対前年度比2・6%増額となりました。

一般会計決算の内訳

自主財源
依存財源



繰越明許費 871万円
実質収支額 5億9,646万円

平成5年度 住民総参加 決算報告

平成5年度の町の決算が昨年12月の議会で認定されました。一般会計と特別会計を合わせた当初予算総額138億7,265万円に対して、それぞれ補正予算を組み、経費の適正化をはかるとともに、住みよいまちづくりをめざしてさまざまな事業を実施してきました。ここでは5年度決算の概要を紹介いたします。

一般会計町民一人あたりに使われた金額（人口は平成6年3月31日現在30,658人で計算）

歳出総額一人当たり
295,903円
歳入総額一人当たり
（依存財源）
188,980円
（自主財源）
126,662円
計 315,642円

総務費 70,769円  一般事務に	教育費 56,279円  生涯学習や 学校教育に	農林水産業費 43,515円  農林業の振興に	民生費 39,844円  福祉の向上に	土木費 22,887円  道路や排水の 整備に
衛生費 20,278円  健康づくりや 環境整備に	消防費 10,308円  消防や防災に	商工費 5,423円  商工業や 観光開発に	議会費 4,439円  町議会の運営に	その他 1,463円  災害復旧などに

特別会計 (万円)

	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	19億5,426	17億6,217	1億9,209
老人保健事業	16億6,701	16億5,378	1,323
農業集落排水事業	7億9,604	7億8,403	1,201
フラワーヒル污水处理施設管理事業	3,370	2,959	411

水道事業企業会計 (万円)

	収入	支出	差引
収益的収支	5億5,023	5億3,540	1,483
資本的収支	5,213	5,468	△ 4,255

町債・企業債残高 (平成6年3月末現在)

一般会計	51億347万円
水道事業企業会計	34億1,281万円

特別会計

一般会計のほか、町には国民健康保険事業、老人保健事業、八郷町農業集落排水事業、フラワーヒル污水处理施設管理事業の4つの特別会計と水道事業の企業会計があります。これらの特別会計と企業会計の決算は、一般会計の決算とともに12月の町議会定例会で認定されました。それぞれの特別会計・企業会計の決算額は表のとおりです。

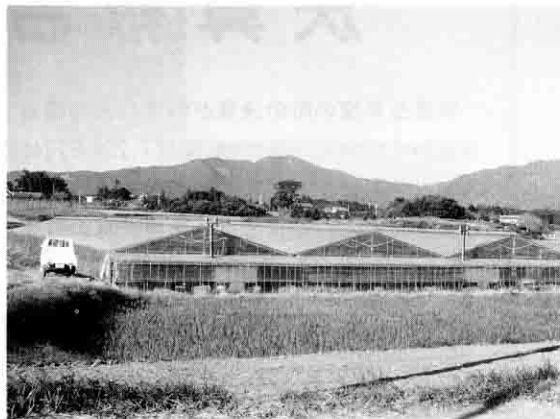
平成5年度で3年目をむかえた農業集落排水事業は、東成井地区および東成井第2地区において、処理施設、管路施設工事を行いました。収支額のうち、繰越明許費繰越額1,186万円を差引いた15万円は翌年度へ繰り越されま

フラワーヒル柿岡団地内污水处理施設管理事業は、人件費と施設補修費が主なもので、収支額411万円は翌年度へ繰り越しとなります。

水道事業会計は、事業運営を行う収益的収支が1,483万円の黒字。建設改良費や企業債償還金など資本的収支は、4,255万円の赤字です。これは、過年分損益勘定留保資金から補てんします。

1 産業の推進（主な内容と事業費）

▷茨城県畜産試験場用地取得事業	740万円
▷先進的農業生産総合推進事業	5,032万円
▷霞ヶ浦水質浄化畜産環境対策事業	900万円
▷冷害地域緊急整備対策事業	6,353万円
▷県単農道整備事業	6,347万円
▷県単土地改良事業	3,016万円
▷農林業同和対策事業	8,807万円
▷花き優良種苗導入資金貸付事業	1,250万円
▷花き銘柄化推進事業	428万円
▷ビニールハウス設置補助事業	66万円
▷転作助成事業	2,858万円
▷条件整備特別対策事業	1,068万円
▷水田営農活性化対策推進事業	1,545万円
▷園芸いばらき振興推進事業	1,500万円
▷豊かなむらづくり事業	4,601万円
▷農村集落センター整備事業	2,000万円
▷山村林業構造改善事業	6,544万円
▷林道開設、整備、舗装事業	6,501万円
▷商工振興事業	1,659万円
▷国民宿舎管理運営委託	2,000万円
▷「ふれあいの森」管理運営委託	700万円
▷フラワーパーク管理運営費	8,525万円



収益性の高い園芸作物の振興

県内でも有数の生産額を誇る当町の農業も、近年まれに見る冷夏によって大きな被害を受けました。町では、冷害地域緊急整備事業などにより、冷害後の土壌改良の施策を進めました。また、農業経営の安定をめざした、付加価値の高い農産物の振興、転作物物の導入などを図りました。

一方、観光農業の育成とともに観光レクリエーション施設の充実に努めました。商工業の振興については、商工会との連携を密にし経営相談の充実、自治金融制度活用への啓もうを進めました。

地域産業の活性化図る

2 教育・文化の向上（主な内容と事業費）

▷教育振興対策事業（研修、研究会補助）	2,076万円
▷外国青年招致事業	444万円
▷小・中学校管理事業	10,015万円
▷小学校施設整備事業（小桜小学校）	7億2,202万円
▷教育振興備品購入事業（教材、教具）	3,142万円
▷生涯学習推進事業	286万円
▷社会教育活動総合事業	206万円
▷文化財保護顕彰事業	213万円
▷公民館講座開設事業	137万円
▷花とふれあいのふるさとづくり推進事業	117万円
▷地区公民館事業の推進	158万円
▷環境美化運動の推進	41万円
▷公民館まつりの開催	33万円
▷人材育成事業	78万円
▷中央公民館図書の利用促進	78万円
▷スポーツ団体育成事業	140万円
▷高齢者学級開設事業	28万円
▷運動公園プール整備事業	447万円
▷給食センター陸屋根防水事業	280万円
▷給食用備品購入事業	176万円
▷給食配送委託事業	1,105万円
▷新生活運動の推進	13万円



教育環境が整った小桜小学校

学校教育の分野では、国際化の進展に対応した英語教育の向上を図るため、外国青年招致事業により英語指導助手の確保を進めました。一方、教科指導の充実、資質向上を図るため、研修や研究事業の推進、また、施設整備では小桜小学校の改築事業を行いました。

生涯教育の分野では、生涯学習推進体制の整備を進めるとともに、学習情報データベースシステム端末機を導入し、多様な学習分野への対応に努めました。さらに講座や教室開設により、生涯学習の核づくりを進めました。

小桜小学校校舎を改築

3 対話・環境の充実（主な内容と事業費）

▷ 広報やさとの発行など	675万円
▷ 懇談会や対話事業の実施	41万円
▷ 金銭会計システム運用事業	790万円
▷ 公用車購入事業	977万円
▷ 総合計画改訂事業	185万円
▷ カーブミラーやガードレールなどの設置	349万円
▷ 庁舎建設事業（5年度支出分）	8億1,853万円
▷ 湖北環境衛生組合負担金	6,534万円
▷ 石岡斎場組合負担金	882万円
▷ 水道事業会計繰出金	2億4,500万円
▷ 合併処理浄化槽設置整備事業	1,642万円
▷ 特定区域清掃委託事業	115万円
▷ 新治地方広域事務組合負担金	1億569万円
▷ 道路台帳整備事業	474万円
▷ 道路維持補修事業	4,160万円
▷ 飯塚・山崎線整備事業	1億2,186万円
▷ 神影・行在所線道路整備事業	3,667万円
▷ 一般町道整備事業	7,999万円
▷ 町道舗装新設事業	4,999万円
▷ 町道舗装整備事業	6,089万円
▷ 排水整備事業	3,473万円
▷ 都市計画推進事業	2,488万円



広く皆さんの意見を聴くための対話教室

対話による行政の推進を図るため、広報紙などを通して町の施策を広く住民に知らせるとともに、住民との対話の機会を広く設け、住民総参加によるまちづくりを進めました。

一方、霞ヶ浦の浄化をめざして年次計画で一般家庭へ微細目ストレーナーを配布、家庭排水浄化を推進しました。

町の活性化を図るための基盤づくりとして、市街地整備基本構想の策定を進めました。新庁舎は、平成五年度、六年度の二か年継続で平成五年十一月に着手しました。

新庁舎建設に着手

4 福祉・健康の確立（主な内容と事業費）

▷ 社会福祉協議会助成	1,283万円
▷ 民生委員協議会助成	171万円
▷ 家庭奉仕員派遣事業	838万円
▷ わたきり老人短期保護事業	38万円
▷ 老人保護措置事業	7,541万円
▷ 緊急通報装置設置事業	235万円
▷ ボランティア団体育成事業	53万円
▷ 各種老人クラブ助成	362万円
▷ 新治地方広域老人センター維持管理事業	1,513万円
▷ 敬老会助成事業	1,443万円
▷ 地域改善対策事業	1,183万円
▷ 身体障害者援護事業	4,634万円
▷ 児童手当支給事業	4,977万円
▷ 在宅心身障害児福祉手当支給事業	51万円
▷ 保育所運営事業	4億6,039万円
▷ 老人保健事業	2,652万円
▷ 結核、肺がん検診事業	394万円
▷ 健康づくり推進事業	93万円
▷ 母子保健事業	188万円
▷ 予防接種事業	783万円
▷ 石岡メディカルセンター管理運営負担金	213万円
▷ 霞ヶ浦病舎組合負担金	112万円



住民の健康を守るための検診事業

町では、高齢者が安心して暮らせるまちづくりをめざして、老人保健福祉計画を策定、保健・福祉におけるさまざまな施策の推進を図りました。保健分野では住民一人ひとりの健康と幸せを願い、成人病検診・がん検診・人間ドックの助成など検診事業に力を入れてきました。ほかに、成人病予防のための指導・相談を実施しました。

福祉の面では、寝たきりのお年寄りの訪問指導や移動入浴、ひとり暮らしのお年寄りへの給食サービスなど、安心してサービスが受けられる在宅福祉に努めました。

老人保健福祉計画を策定

12月定例議会

一般会計 予算102億11万6千円に

平成6年第4回町議会定例会が12月14日から22日までの9日間にわたり開かれました。上程された議案は、平成6年度一般会計補正予算など13件で、いずれも原案どおり可決されました。ほかに平成5年度八郷町一般会計歳入歳出決算についてなど認定が6件、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したものの報告が21件、陳情4件、同意5件が上程され、いずれも原案どおり可決決定されました。主な内容は次のとおりです。

八郷町総合計画

基本構想など提出

議案

○八郷町税条例の一部を改正する条例

○八郷町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
○八郷町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
○八郷町公告式条例の一部を改正する条例

○戸籍訂正に関する和解について
○町道路線の認定1件、変更1件廃止1件

○第5次八郷町総合計画

○平成6年度一般会計補正予算第5号、第6号

○八郷町国民健康保険特別会計補正予算第2号
○平成6年度八郷町水道事業会計補正予算第1号

園部小学校増築の

地質調査費など追加

一般会計補正予算第5号では、歳入歳出それぞれ9,939万5千円を追加、予算総額を101億9,798万5千円とすること、園部小学校校舎増築に関する債務負担行為の追加をすることです。
歳入は、前年度繰越金の補正増が8,906万7千円、小・中学校理科教育等設備整備の教育費国庫補助金が150万円の増、県支出金では、先進的農業生産総合推

進対策事業補助金など農林水産業費県補助金が155万1千円の補正増、庁舎建設基金利子の財産収入が266万7千円の補正増などが主なものです。

歳出では、賦課徴収費の航空写真撮影等委託料補正増で1,770万円、生産安定化緊急促進対策事業補助金など農業振興費783万9千円、園部小学校校舎増築に係る学校建設費が405万9千円の補正増などです。

一般会計補正予算第6号では、歳入歳出それぞれ213万1千円を追加し、予算総額を102億11万6千円とするものです。



7年度増築予定の園部小学校

歳入では、前年度繰越金の補正増、歳出は調査特別委員会に係る経費100万円、戸籍訂正に関する和解金13万1千円の補正増です。

ほかに、地方自治法第2条第5項の規定に基づき、八郷町総合計画基本構想が策定され、提出されました。

認定

○平成5年度八郷町一般会計歳入歳出決算

○平成5年度八郷町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

○平成5年度八郷町老人保健特別会計歳入歳出決算

○平成5年度八郷町フラワーヒル柿岡団地内汚水処理施設管理特別会計歳入歳出決算

○平成5年度八郷町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

○平成5年度八郷町水道事業会計決算

陳情

○八郷町戸ノ内薮ヶ原地内町道拡幅改良工事に関する陳情

○羽鳥、恋瀬（小見）間のJRBパス路線廃止に伴う代替バスの確保についての陳情

○県道笠間・つくば線のフラワーヒル区間地内入口より消防署交差点に至る700m間の道路拡幅と歩道設置の陳情

○大増長石地区町道の改良に関する陳情

陳情案件については、各常任委員会に付託され、現地調査や関係課からの説明を踏まえて、慎重に審議された経過が各委員長から報告され、すべて採択されました。



拡幅、歩道設置の陳情があった県道(研究所入口付近)

同意

○八郷町教育委員の選任につき同意を求めることについて 3件

○八郷町監査委員の選任につき同意を求めることについて 2件

3名が欠員となっていた教育委員に、大字上曾の軽部豊さん(69)、大字小幡の潮田左四郎さん(69)、大字下林の鈴木重喜さん(68)を選任することについて満場一致で同意を得ました。

また、町監査委員に、学識経験者として大字柿岡の菊地茂雄さん(75)、議会選出の監査委員として、

〔総務委員会〕
◎塚谷和幸 ○伊藤昌次郎 吉川勇 島田重郎 関忠治 山田保

〔教育民生委員会〕

大字大增の鈴木光雄さん(68)を選任することについて、やはり満場一致で同意を得ました。

また、この定例会では、議長、副議長の改選や常任委員会、議会運営委員会などの構成が改められ、次のように決まりました。

◎は委員長、○は副委員長、敬称略

〔産業土木委員会〕
◎中村茂夫 ○川又紀征 岡崎勝巳 鈴木米造 鈴木光雄 上田孝之 川井伸夫

〔議会運営委員会〕

◎山田保 ○塚谷和幸 鬼沢隆 中村茂夫 吉川勇 伊藤昌次郎 関忠治 小松崎長太

教育委員、監査委員についてはそれぞれ、12月26日付をもって任命されました。

◎鬼沢隆 ○嶋田佐登子 大場俊之 入江貞一 小松崎長太

議長に島田氏、副議長に上田氏

教育長に軽部氏選出

第4回町議会定例会における議長、副議長の改選で、議長に島田重郎氏(67)(大字野田)、副議長に上田孝之氏(67)(大字根小屋)が全会一致で選ばれました。島田新議長は、「議長という職責の重大さは

痛感するとともに、議員の皆さんのご協力を仰ぎ、円滑な議会運営に努めて行きたい」と抱負を語っていました。



上田副議長

れ、教育長に軽部豊氏(69)が選ばれました。軽部氏は、石岡市関川小学校長を最後に退職、町中央公民館長や町文化財保護審議会委員などを勤め、社会教育の分野でも活躍されました。



島田議長

また、12月26日3名の教育委員が任命された後教育委員会が開か



軽部教育長

茨城県議会議員一般選挙 町の投票率67.08%



選挙当日の投票所(林地区公民館)

●立候補者別得票数(届出順)

飯岡章	自由民主党	4,928票
桜井富夫	自由民主党	8,906票
宮嶋光昭	新進いばらき	1,413票

●町内各投票区の投票率(%)

投票区	投票率	投票区	投票率	投票区	投票率
第1	62.43	第10	74.05	第19	72.94
2	75.69	11	69.14	20	60.69
3	76.52	12	75.66	21	70.83
4	73.59	13	72.11	22	78.10
5	73.94	14	61.50	23	72.73
6	84.48	15	63.62	24	74.48
7	66.06	16	56.98	25	80.97
8	71.58	17	58.66	26	77.44
9	69.86	18	53.20		

(男女の合計です)

平成6年12月11日に投票が行われた茨城県議会議員一般選挙は、即日開票の結果、新治郡選挙区(定数2)で、飯岡章氏、桜井富夫氏が当選しました。八郷町における得票数や投票率は次のとおりです。

シリーズ 元気はつらつわれらの先生 (8)

子どもたちは自分を映す鏡

今月は、芦穂小学校四年生担任の高野裕一先生を紹介します。



高野 裕一先生

先生は芦穂小へ赴任して六年、「芦穂はとても環境がよいところ。そして、このどかな環境の中で育ってきた子どもたちは、みな純朴です。これからのびのびと育ってほしい」と話していました。先生は、小学生の時剣道を始め、大学まで続けて身心を鍛えました。小さいころは、宇宙飛行士になって宇宙を旅したいという夢があったそうです。いまは、宇宙は少し遠いので、地上の旅行を趣味としているとのこと。

ところで、先生は昨年十月に結婚。新婚旅行は冬休みを利用してカリブ海へ。旅行が好きというだけあって、行き先もちょっと違います。



芦穂小学校4年生の皆さん

「子どもたちは自分を映す鏡」と言う先生は、「子どもたちを見ていると自分の反省点が見つかります。教師の側が心を開けば、子どもたちのほうも心を開いてくれます。素直な気持ちで子どもたちの発想を生かしてやりたい」と結婚して気持ちも一層充実、ますます張りきっていました。

町への要望としては、「笠間から通勤していた経験からトンネルで結ばれれば便利になるのでは」とトンネル化に期待していました。子どもたちへのインタビューを

紹介します。

Q 先生のどんなところが好きですか。

A 宿題は土、日曜日はなしにしてくれるので最高。また、休み時間にサッカーなど一緒に遊んでくれます。

Q 先生はどんなところが厳しい。

A 特に男子に厳しい。強い男にとの期待をかけているのでしようが、男女平等にお願いします。

Q 先生についての失敗談とかおもしろい話がありますか。

A サッカーをやっていると、一人で目立ちたがって、ロングシュートを打つのですがいつも失敗。サッカーはチームプレーが大事だと思います。

Q 食べ物の好き嫌いは知っていますか。

A チーズが嫌いで、給食に出るときは、三色ふりかけ持参です。

Q 先生にひとこと。

A サッカーのワンマンプレーはやめてほしい。また、テストの丸つけは正確に。

町長の日記帳から

十二月の主な動向はつぎのとおりです。

筑波嶺句碑を建立

桜井盾夫



俳誌「春耕」を主宰する皆川盤水氏の句碑がこのほど、柿岡の吉田広司氏のお力添えにより建立されました。

場所は八郷高校近くの高台で見晴らしのよい申内稲荷神社境内。「筑波嶺」句碑と題されているように筑波山が一望でき、つい俳句を詠みたくなるような絶景の地です。

筑波嶺の大谷小谷初霞 盤水という句が、どっしりとした落ち着きのある筑波石に刻まれました。筑波山は古来より多くの歌人や俳人たちに親しまれ、四季折々の風景やそこに住む人々の暮らしが短歌や俳句に詠まれてきました。今回また一つ、紫峰筑波山にちなんだ名句が誕生したことになります。

町の俳句の歴史は古く、遠く江戸時代にも盛んに句会が開かれたようです。この句碑建立を機に、やさし俳句会がより一層充実されることを切望いたします。

同和問題の理解のために

明るい社会をめざして

人権って何でしょう

人は誰でも、幸せて、生きがいのある生活をしたと願っています。そのために欠かすことのできない、みんながそれぞれ生まれながらに持っている人間としての権利が人権です。

私たちは、憲法に保障された基本的人権をお互いに尊重しあい、これを大切にし守り育てていかなければなりません。

しかし、残念なことに現実にはさまざまな差別や偏見により、不当に人権が侵されたりすることがあります。その一つに同和問題があります。

同和問題は、みんなの問題

私たちは、生まれながらにして、自由・平等であり幸せて健康に生きる権利を持っています。こうした願いや権利は、基本的人権といわれ憲法でも保障されており、不当に侵してはならないのです。

しかし、日常生活の中で、私たちは古くからの因習や世間体にとらわれたものの見方、考え方に影響され、ときにあやまった判断を

して、知らず知らずのうちに、人権を侵し、人の幸せを踏みにじていることがあります。

たとえば、女性であること、障害者であることなどを理由に差別するということはないでしょうか。私たちの周囲には、さまざまな形の差別が存在し、私たちの幸せを阻んでいる現実があります。そして、こうした問題の中でも最も深刻で重大な社会問題として同和問題があるのです。

こうした差別は、私たち一人ひとりがなくしていこうという姿勢をもち、努力していかなければ決して自然になくなるものではありません。したがって、これらの問題は決して他人ごとではなく、私たち一人ひとりの幸せに生きる権利と深くかかわりをもっているのです。

残された部落差別

明治維新によって、日本は封建社会から近代社会へと変わりました。封建制度の終わりとともに、なくなるはずの部落差別が、なぜ今日まで残ってしまったのでしょうか。

明治政府は、近代化のさまたげとなる封建制度を改め、職業の自由、居住移動の自由を許し、身分制度を廃止しました。

しかし、社会の近代化が不徹底だったことなどから新たに華族制度がつくられ、もとの公家や大名、武士には多くのお金や公債で生活を保障し、一方で同和地区の人々には、なんらの経済的保障もなく、かえって職業の自由の名のもとに今までの仕事を失うなど経済的に不利なままで自由競争の社会に放り出され、その上、国民として納税・兵役・教育の三大義務が負わされました。

このように、近代化への道を歩みはじめたにもかかわらず、世の中に残る封建的な因習などが、差別をなくすさまたげとなり、現在に残されたのです。

みつめ直してみませんか

〔家庭では〕子どもからお年寄りまで家族それぞれの人権が尊重されているでしょうか。

〔地域では〕不合理な慣習や風習、家柄や世間体を気にするなどで、人権を侵しているようなことはないでしょうか。

〔職場では〕年齢や男女にかかわらず、差別のない民主的な職場になっっているでしょうか。

(県同和对策室刊行資料より)

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

春を呼ぶ草花まつり

手入れ法の教室やオークション



「花と緑の楽園」として皆様に親しまれている茨城県フラワーパークでは、二月五日から十日まで「春を呼ぶ草花まつり」を展示販売温室を中心とした会場で開催いたします。

まつり中のイベントとしては、二月五日から十一日まで、春の訪れを告げる草花(プリムラ類、パンジー、アザレア、サイネリア等)を多数展示し、来園者にひと足早い春を味わっていただく「春を呼ぶ草花展」。

また、二月十二日の午後十二時三十分からは、春の草花の手入れや管理法などについての講

話と実技指導の教室を参加費無料で開催いたします。同じく二月十二日の午後一時からは「春を呼ぶ草花展」に展示された草花をオークション(競り売り)にて即売いたします。

その他、花の売店では、展示品と同種の草花や洋ランなどをお手ごろ価格で販売する他、格安コーナーも設けておりますので、ぜひお買い求めください。隣接の「ふれあいの森」では、スリッパスライドやフラワーサイクルも楽しめますので、多くの皆様のご来園をお待ちいたしております。

●最近気になる病気

大腿骨頸部骨折について

石岡市医師会病院

整形外科 玉井健介医師



大腿骨の一番上の丸くなっているところを大腿骨頭といい、その下のくびれた部分を大腿骨頸部といいます。ここは、立つたり歩いたりする時に大きな力の加わるところですが、若くて骨が丈夫なうちは、ここが骨接することはめったにありません。しかし、歳をとって骨のカルシウムが減り骨がもろくなると転倒などの些細な外傷でもここが折れやすくなります。患者数は六十歳を過ぎたころよりだんだんと多くなり、高齢になるにつれて急激に増加します。

大腿骨頸部骨折をおくと、立つたり歩いたりすることはできません。骨折のズレが小さい場合には、手術をしないで治療することもできますが、それには二、三か月はベット上で安静にしなければなりません。しかし、老人が長期間寝たままでいると、肺炎などの病気を併発したり、筋力の衰え、老人性痴呆(ぼけ)の発生、悪化など

の生命にかかわる合併症をおこすことも少なくありません。そのため、大腿骨頸部骨折の治療では、手術して少しでも早く座ったり、立てるようにしてあげて合併症をおこさないようにすることが重要です。

手術方法には、金属製の固定材料で骨をつなぐ方法(骨接合術)と折れたところを人工物に取り替える方法(人工骨頭置換術)とがあります。一般的には、大腿骨頸部の上の部分で骨折しズレが大きい場合には人工骨頭置換術、それ以外の場合には骨接合術が行われます。「年寄りには手術はかわいそうだし、手術に耐えられるかどうか心配だ」と言う方もおられますが、老人にとっては、長い間ベット上で安静にしていなければならないほうがつらいものです。

また、年齢相当の体力があれば手術はほとんど危険性はないと考えて良いと言えます。



八郷スキークラブ

八郷スキークラブでは、全日本正指導員三名、同準指導員十名、同公認パトロール三名の有資格者をそろえており、スキーツアーでは親切丁寧な指導でクラブ員のレベルアップを図っています。スキーツアーは、関東、東北地方の各スキー場で、年に七回程度実施しています。少年スキー教

室などへも協力、長期的な後継者育成にも努めています。

なお、スキー以外の活動として、シーズンオフに、ソフトボール、バーベキュー、ゴルフコンペ等を行い、年間を通じて活動しています。会員は九十四名で、会費は年五千元です。スキーの好きな方ならどなたでも大歓迎です。

◇代表者 市村茂雄さん
連絡先 八郷町小屋一五二
塚田晃一さん宅 〇四四一〇七〇九

初心に帰って書に親しむ

八郷硯友会

書を愛する愛好者があつまり、五年前に結成されました。この書道の会は、諸流派を越えてつくられたもので、八郷町に住んでいる方なら入会できます。会員の作品を出展する機会として、町の「ふれあいまつり」の書道展などがあります。また、昨年八月五日から二十五日にかけてはじめての役員展を開催しました。

の発行や研修旅行なども行っています。会員の皆さんは、初心に立ち帰って書道に励み、会の発展と地域文化の向上をめざしています。多くの皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

◇代表者 森光男(浩亭)さん
連絡先 八郷町柿岡
一九五三三三
〇四三三六三四二



ふれあいまつりの書道展への出展作品

わたしの手料理



色どりの
きれいな
野菜豆

食生活改善推進員 岡崎登美（川又）

材料（4人分）大豆（乾燥）カップ1 ニンジン半本 ごぼう中半 ハス小1節 干しいたけ3枚 鶏肉100g さやいんげん10本 みりん大さじ1 しょうゆ大さじ2 砂糖大さじ1 塩少々 干しいたけもどし水カップ1

作り方 ①大豆は洗い約3倍の水に一晩つけておく。②干しいたけは、石づきをとり、1カップの水にもどし、つけ汁をとっておく。さやいんげんは色よくゆでておく。③圧力鍋に水きりした大豆と適当に切った材料と調味料を入れ、しいたけのもどし汁を上からふりかける。④ふたをして点火し、沸騰させ、圧力がかかったら弱火にして2分間で火を消し、10分ぐらい蒸らす。⑤さやいんげんを散らして出き上がり。



わが家のCUTY

柿岡

那須 香織ちゃん

父 保さん 母 久子さん
平成3年11月19日生まれ（長女）
♥家族からの一言

女の子ですが、ズボンをはくと男の子と間違われるくらい活発で元気です。テレビのセーラームーンが大好きなのはやっぱり女の子の妹とも仲良く遊んでいます。のびのびと素直に育ってくれることを願っています。

八郷あちらこちら

歴史の散歩道

①



八郷盆地の中央に笠を伏せた如き山容を呈する標高一五二一メートルを測る「ふじ山」が目にとまる。恋瀬川を隔て東方に位置する林地から望む「ふじ山」の姿は、裾の部分までが見渡せる八の字を呈し、それは秀麗な感を抱かせられる美しい形の山といえる。

昭和三十八年のころ、金指地内の「ふじ山」東麓の緩傾斜に営まれた耕作地を踏査したおり、入念なつくりの石製模造品二点

（有孔円板・剣形品と呼ばれる滑石製品）と粗雑な手づくね土器の破片を数点採取することができた。これらの遺物は、まぎれもなく古代社会において祭祀を執り行う際に用いられた祭具の一種であり、山麓のどこかに祭祀遺跡の存在していた可能性が想定されるのである。しかし、こ

れを文献上から立証する確かな資料は皆無であるため、これまでに報じられている祭祀遺跡の研究成果などから推測するのほかにない。

古代社会の村びとは、自分たちの居住する環境に存在する山嶽をはじめ巖石巨樹・河川・湖沼・湧泉・温泉などの自然現象に神を認め、さらに日常の農耕生

神奈備それは「ふじ山」

活や無病息災にいたる生活全般に、神霊を招請し加護を祈り信仰を続けていたことは、いまでも各地に伝承される祭礼行事や民俗芸能などからうかがい知ることができる。

「ふじ山」の麓から祭祀遺跡が発見されていることは、清らかさと美しさを感じ

じさせる形状（神奈備型の山に神霊がよる霊山との認識にたち、「ふじ山」は聖なる山として、その山麓のある地域に浄地を画し、これを斎場として神霊を招き、祭祀を執り行ったことがうかがえるのである。

いつの頃からか定かではないが、現在では「富士山」と呼称されている。私の

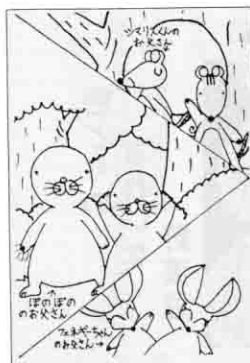
推測が許されるならば、古代人が畏敬の念で尊んだ霊山は「不二山」、「二つとない山」、つまり、

「不二山」であって、このように表記することが、古来からの山の歴史的性格を物語っているように思われてならない。千数百年に及ぶ郷土の発展の推移を見守ってきた貴重な遺跡といえよう。

八郷町文化財保護審議会委員

西宮 一男

みんなの広場



ぼ の



真家 木村純一 (11)



小幡 田中恵理佳



柿岡 木村幸子 (11)



かのん



須釜 甲 香織 (12)

私

も毎年手あれに悩み、いろいろ試してみましたが結局、ゴム手

私とひとこと

袋の薄手と厚手、軍手を用意し、台所用、洗濯用、外そうじ用、犬の散歩用と小まめに使い分ける事で、だいぶ解消できました。

でもきれいにみがいたマニキュアの手、指もステキですがしつかり仕事をしている荒れ気味の手も暖かい感じがすると思います。 大增 森田下枝 (40)

い

つも楽しく見ています。みんなの広場が一番です。 わが家にも、コンポスターが届きさつそくゴミを入れるようになりました。子どもたちも手つだてくれます。これで、ゴミが少しでも減るといいですね。(母より)

下林 竹熊恵美 (9)

引万有

あき

一点一画正確に書けた作品です。

ひろびろとスケールいっぱい、のびやかな作品です。

習字コーナー

評 玄潮会 森 浩 亭

柿岡小三年 吉岡伸子

恋瀬小二年 友部なつみ

たいのですが、紙面の都合で一部になってしまいます。お許しください。 ゴミの減量化は、多くの皆さんのご理解とご協力が必要です。これからもよろしく願います。 広報係 歳三か月の子どもがいますが、柿岡の町の中に小さな子どもたちが遊べるような児童公園があったらなあ。と時々思います。(小さなベンチやスベリ台、ブランコなど)他の地区ではよく見かけるのですが、おうして柿岡にはないのでしょうか。お友達をたくさん作ってあげたいのです。が、なかなかチャンスがありません。

現在進めている都市計画の中には市街地の中の公園施設整備などが盛り

込まれることとなりますが具体化はまだ先になるでしょう。お話の地区では集落が主体となつて集会所敷地内などへ遊具を設置する場合、一定の条件が満たされればコミュニティ事業の助成などが受けられますので、これを活用されたか、あるいは地域独自で整備をしたものと考えます。 広報係

毎

月嬉しく読ませて頂いて居ります。まず、表紙の「シリーズ働く人」がすばらしいです。心から頭が下がります。都市に住む娘等も来た時に必ず読んで居ります。故郷の様子が分かると思ひます。来年もよろしくお願ひ申し上げます。柴間 杉山はつ (73)

係として心強い限りです。 広報係

広報クイズ 82

描

「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線二三四三)

あだたら高原で少年スキー

町教育委員会主催の少年スキー教室が
一月五日から七日にかけて、福島県あだ
たら高原スキー場で行われ、小中学生七
十一名が参加しました。
教室は、初心者・経験者など数名ずつ

のグループに分かれ、八郷スキークラブ
員の指導のもと、熱心に講習を受けまし
た。初めてスキーに挑戦した子供たちも
二日目にはすっかり上達、リフトを使っ
て滑るほど自信がついたようでした。

時代を語る建築様式学ぶ

「八郷の古建築」研究講座(町教育委
員会主催)が十二月十五日、十八名が参
加して開かれました。講師は、町文化財
保護審議会委員の一色史彦さん。浦須の国
指定史跡佐久良東雄旧宅と瓦谷の日笠神

社の二か所を訪れ、時代ごとの特長ある
建築様式の説明を受けました。
町の中に残る古建築物への理解を深め
ようと参加された皆さんは、古人の建築
技術の見事さに感心していました。



お年寄りへ給食サービス

十二月二十六日と二十七日の二日にわ
たってひとり暮らしのお年寄り百五十人
に温かいお弁当が届けられました。

食生活改善推進員の皆さんが事前に献
立を考え、二日間に分かれて調理を担当
でき上がったお弁当をボランティアアグル
ープ「つくしんぼの会」の皆さんや、社
会福祉協議会の職員、ホームヘルパーの

皆さんが、それぞれのお宅を回って届け
ました。

献立の内容は、里いもやかぼちゃの煮
物などお年寄りの好みを考えたものでし
た。お年寄りの皆さんは、年末の忙しい
中、たくさんの方の善意の協力で届いた
温かいお弁当を手にして、たいへん喜ん
でいました。



ときめき ティータイム

真家由美子(真家・24歳)さん
休日は友達と買い物。これから
フラワーアレンジメントを始めよ
うかなと考えています。



ありがとうございます

○役場庁舎新築記念として絵画一
点(十号)寺沢保作「筑波を望む」
水戸市南町二一五―五
○常陽銀行代表取締役西野虎之介
○役場新庁舎へ鉢植の花(シンビ
ジウム)五鉢

上曾 峯 敏



年頭に安全願い出初式

一月十日新春恒例の消防出初式が運動公園で行われました。

寒風吹く中、町消防団、八郷消防署、少年消防クラブなどから関係者六百名が出席、消防自動車四十三台が参加しました。

式典では、全団の検閲・機械器具の点

検などを行い、日ごろからの非常時に備

えた万全の準備体制が確認されました。

また、可搬自動車それぞれの模範演技が披露され、訓練を重ねた機敏な動作に、見学者からさかんな拍手が送られました。

式典の後、パレードをしながら片野地内の水田へ集合、一斉放水を行いました。

中央公民館に「ならせ餅」

中央公民館の親子クッキング講座では、このほど昔から伝えられる正月行事の「ならせ餅」と「春の七草」について学習しました。講師は、藤代克さんと富田律子さんと二十名の親子の皆さんと各地区公民館長や主事の方が参加しました。

ならせ餅は、農家の伝統行事として、正月十四日に行われるもので今年の豊作

を祈ったものでした。また、「春の七草」

は、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ

ホトケノザ、スズナ、スズシロを入れた

おかゆを作り、正月七日に無病息災を願

って食べるものでした。講座では、こうし

た忘れ去られようとしている伝統行事を

親子で学び、餅つきや「ならせ餅」など

楽しみながら体験しました。

ボランティア養成講座開催

高齢化が進む中で、ボランティア活動に取り組むためのきっかけづくりや心構えなどを学習するためのボランティア養成講座が十二月十三日農村高齢者センターで開かれました。

講師には、元茨城県教育委員会教育委員長をつとめられた岡山初子先生を招いて、約一時間半にわたって講義を受けま

した。講義の中で先生から、ボランティ

アの根幹は「かわいそうだからではなく

その人が生きていくひとつのチャンスと

与えること」、「人はささえ合って生き

ているという考え方が基本」とのお話が

ありました。その後、ボランティアグル

ープ「つくしんぼの会」からの体験発表

や意見交換などが行われました。



みなさん明けましておめでとう
ございます。本年もどうぞよろし
くお願いいたします。

さて、今月号から、綿引鼓峰先
生の執筆による八郷の歳事記に代
わり、西宮一男先生の歴史の散歩
道が始まりました。

綿引先生には、お忙しい中を二
年間というお約束でお願いしてい
ましたので、ご愛読いただいてい
たみなさんには、たいへん申し訳
なく思っています。

八郷の歳事記では、綿引先生の
豊富な知識と感性豊かな文章で、
忘れ去られようとしている伝統行
事や催事など数多く紹介してい
ただき、読者のみなさんにはたいへ
ん興味深いものがあつたのではな
いでしょうか。なお、綿引先生に
は、やさしく文芸の俳句選者として、
引き続きご活躍いただきます。

今月号から始まった西宮先生に
よる歴史の散歩道では、西宮先生
が町の埋蔵文化財の調査研究にた
ずさわって、集められた資料から、
古代人の風習や地名の由来など、
そこにまつわる歴史ロマンをたず
ねてみるものです。皆さんどうぞ
楽しみにしててください。(市)

清らかな水を守るために

霞ヶ浦は、社会経済の発展に伴い水質悪化、とりわけ富栄養化が進み、きわめて深刻な状況になっています。このため、町では県とともにあらゆる面で浄化のための取り組みを実施しています。農家の皆さんも農業面からの霞ヶ浦浄化が一層推進されるよう積極的な努力をお願いします。



町には約2,000haの水田がある。それらの水田から落ちる水は、恋瀬川や園部川を通して霞ヶ浦に注いでいる。町では浄化効果の高い施肥田植機(写真)を使つての田植えを進めている。

古くから霞ヶ浦は、大自然の営みの中で調和を保ち、人々に限りない恵みを与え、豊かな生活をもたらしながら特有の風土を生み、文化を育ててきた母なる湖です。

しかし、この霞ヶ浦も、近年における著しい社会経済の発展に伴い、自然の浄化作用が破壊され、その水質は急速に悪化してきています。

特に、富栄養化の進行は、さまざまな環境上の障害をもたらしており、このまま進行すると、将来私たち及びその子孫の生活と生産活動が、重大な危機にひんすることは必至の状況です。

八郷町は、この霞ヶ浦にそそぐ恋瀬川と園部川の上流にあたり、あらゆる方面からの水質浄化に取り組み、より一層の浄化対策を推進する必要があります。

そこで、今回は、農業面からの浄化対策を取り上げましたので、皆さんの積極的な努力をお願いいたします。

(一) 水田・レンコン田の管理

①土壌分析診断を行い、適切な施肥及び土壌管理を行う。

②施肥は、肥料成分の流出ににくい側条施肥等の局所施肥や全層施肥等にする。

③肥料は、溶出抑制効果の高い被覆肥料等緩効性肥料を使用する。

④代かきのためのかん水はできるだけ少なくし、施肥直後は落水しない等の適正な水管理を行う。

⑤畦畔の保全を図り、水の使い過ぎを防止する

(二) 畑・樹園地の管理

①土壌分析診断を行い、適切な施肥及び土壌管理を行う。

②良質な堆きゅう肥の土壌改良資材を用い、深耕、イネ化作物との輪作を中心とした健康な土づくりを行う。



水路の保安全管理も大切(朝日土地改良区の清掃作業)

また、浄化効果の高い側条施肥田植機の導入を進めるため、次の特別助成事業を実施します。

施肥田植機導入促進特別助成事業

①助成対象 農協及び営農集団

②助成対象田植機 乗用であつて五条以上の施肥田植機

③助成金額 (本体の中に占める施肥部分取付費の五〇%)

五条施肥田植機 十二万円

六条以上施肥田植機 十五万円

④その他 改良資金、近代化資金等との併用も可。転作達成者に限り該当します。詳しくは、役場農政課までお問い合わせください。